

令和8年度 地域と学校の連携・協働の充実に向けたチェックシート

【学校名： 】

※ □に☑をつける

評 価 項 目		☒
学校運営協議会の活性化		
1	教職員はコミュニティ・スクール（CS）の目的や学校運営協議会の役割を理解している。	☐
2	学校運営協議会において、学校の教育理念・方針及び重点課題等について、熟議する機会を設けている。	☐
3	学校運営協議会の協議内容や意見が教職員に共有され、学校運営や教育活動に反映されている。	☐
4	教職員が地域との話し合い等、学校運営協議会に関わる機会と時間が確保されている。	☐
5	学校運営協議会委員と児童生徒が交流・意見交換する機会を設けている。	☐
地域学校協働活動（本部）の活性化		
1	地域学校協働活動（本部の運用）について、教職員と地域がその役割を分担している。	☐
2	地域学校協働活動推進員（コーディネーター）が学校と地域の連携を支えている。	☐
3	地域と学校が協議する機会（連携会議等）を定期的に開催し、活動内容や課題を共有している。	☐
4	地域学校協働活動推進員（コーディネーター）が活動できる場が、学校内に確保されている。	☐
教育活動の充実		
1	育成したい資質・能力や互いの思い・願いを地域の方と共有し、どの場面でどのように協働するかを明確にしている。	☐
2	活動のねらいや配慮事項等について共通理解を図り、学校と地域の方が役割分担しながら、連携・協働している。	☐
3	事前に地域の方と情報交換し、児童生徒一人一人の実態や学級の様子、活動の目的や指導・支援の方法等について、共通理解を図っている。	☐
4	活動後に、地域の方と振り返りの機会を設け、成果と課題を共有している。	☐
5	活動後の反省や課題、地域の意見を参考にし、次年度の教育課程を編成・改善している。	☐
地域連携の推進		
1	地域学校協働活動の目的や価値を全教職員が理解し、学校全体で取り組んでいる。	☐
2	教職員が地域学校協働活動推進員（コーディネーター）と相談できる時間・場所が確保されている。	☐
3	地域学校協働活動の様子を記録し、地域や家庭に発信している。	☐